



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「かけっこ」 蜘蛛 康介

## <会長の時間>

本日で私の会長の時間は最終回です。私の博士論文の話をしします。大学院時代、人間の老化はどうして起こるのだろう。不老長寿の方法はないだろうかと考えていました。人間でいえば青春期、壮年期、老年期、のマウスに一週間非常に強いストレスを与え、その後どのように回復するのかを調べました。ストレスに対してリンパ球の塊である脾臓がすごく反応するので、脾臓の重さと組織像でその変化を比較しました。ストレスに対しては三者ともほぼ同じような反応でした。ところが回復の段階では壮年期が一番弱く、青春期と老年期の回復状態がほぼ同じだったので。脾臓は免疫とか感染予防に大切な役割があります。このデータがどのようなことを意味するのか充分には分かりません。緊、事態が発生すれば、年齢に関係なく眠っていた潜在能力が目覚めるのではないのでしょうか。



私の中には人間の老化に対してストレスとか社会的役割が予防的効果を内在しているのではないだろうかという想いがあります。たまたま私は 40 歳から 55 歳まで肝臓の病気で十分な活躍ができませんでした。15 年間の病気が治ったので何か世の中の役に立つことをしたいと考え、私が 59 歳の時約 10 億円の借金をしてある事業を起も上げました。さらに 70 歳のとき 25 億円の借金で別の事業を起ち上げました。『自分の命を牧おうとする者はそれを失い、命を失うものはそれを得るであろう』とイエスは言っています。私の場合もすべてを失う可能性もありました。一般的にはそろそろ引退を考える時期です。還暦という言葉が平均寿命何歳のころ出来たのか分かりませんが、現在は少なくとも 20 年、場合によっては 40 年の余命があります。老年期になっても青年期に劣らない潜在能力があるのだということが実証できれば、私の博士論文も重大な意味を持つことになろうかと思えます。イエス、キリストは世の中の役に立つことをすれば必ず誰かが助けしてくれるといっています。私の人生が今後どのような展開をするのか予測はできません。しかし死ぬまでは何とかのため人のためになる事をしたいと願っています。

高山西ロータリーの皆様とは縁あって志を同じくする活動をする機会に恵まれました。この 1 年間私の会長としての言動が皆様にすこしでもお役に立ったのであれば有難いと思えます。ご清聴していただき本当にありがとうございました。

## <幹事報告>

### ◎ガバナー事務所より

- ・第 2630 地区 2013-2014 ガバナーエレクト事務所開設のご案内
- 〒511-0061 桑名市寿町 3-2-7 佐藤病院分室
- TEL 0594-25-2630 FAX 0594-25-2631
- E-Mail 1314@rid2630.org 執務時間 9:30~17:00

### ◎ガバナーより

- ・国際青少年交換 2014-2015 夏期派遣学生募集案内
- 派遣先 アメリカ、フランス、スウェーデン、オーストラリア、ノルウェー、韓国等
- 資格 ロータリークラブの推薦する男女高校生(願書提出時在学中で中学 3 年生、高校 1 年生・2 年生の者)で、学業成績は平均以上、なるべくクラスの上位 3 分の 1 以内の者、日本国籍を有する者
- 期間 2014 年 8 月より 1 年間
- 費用 往復航空運賃一切 … 本人(父兄)負担  
疾病傷害保険料 … 本人(父兄)負担  
(地区にて決めた最低保険額に加入)
- ユニフォーム … 本人(父兄)負担  
(地区指定プレザー)
- 出入国関連費用 … 本人(父兄)負担(15 万円)
- 受入地での費用 … 学費(教科書・授業料等学校に要する費用)及び若干のお小遣いは、受入ロータリークラブより支給されます。食事及び宿泊は、引受家庭において家族の一員として待遇されます。

- 選考日 9 月 16 日(月・祝) ホテルグランヴェール岐阜
- 選考内容 英語筆記試験、作文、一般常識、面接、その他  
\* 学校長推薦書、学業成績証明書、作文、筆記試験(英語及び一般常識)、面接(簡単な英会話を含む)その他を総合的に判断し、選考する。

- 内定通知 9 月下旬。推薦クラブ会長宛に通知する
- 回答期限 9 月 4 日(水) 必着

奉仕を通じて平和を

# 例会報告

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	40名	1名	41名	52名	78.85%
本日	45名	—	45名	53名	84.91%



6/25より沖縄への修学旅行に出発するバスへ、会員の募金による餞別を贈呈しました。



### エリサベス・クレア ・コックス

みなさん、こんにちは。わたしは今、さかしたさんといっしょにすんでいます。

今月の八日と九日は京とに行きました。京とでたくさんお寺に行きました。わたしの一番好きな寺はだいせんいん。あそこは本当にしずかなところ。わたしはあそこはいいところと思います。わたしはきんかくじも行きました。でもあそこは人が多い。だからあまりあんしんなことではなかった。でもあそこはとてもうつくしい。京とはすばらしい町です。

先週末わたしはぎふに行きました。その時は四人のりゅうがく生のそつぎょうしき。だからみんなかなしかった。

来週わたしはしゅうがくりょうこうでおきなわへ行きます。本当にたのしみをしています。みなさん、このおこずかい本当にありがとうございます。

おりげかいちょう、よくできました。そして山下さん、来週からがんばって下さい。

## 新会員入会

いしうら歯科医院  
院長 山下 直哉



## <本日のプログラム>クラブアッセンブリー

### 出席・プログラム委員長

洞口 良一

出席・プログラム委員会より今年1年間の報告をさせていただきます。

出席状況については、本日はカウント出来ていません

が、年間例会数46回で純出席率は77.79%、補正出席率は93.51%となりました。出席率が悪い事を何人かの方達が言ってみえましたが、その通りの結果となりました。基本方針で出席率の向上に努力する、との方針でしたが、なんの啓蒙やお願いもせずただ例会での与えられた業務をこなした程度で申し訳なかったと思っています。

ファイン徴収については例会前に徴収させていただきましたが、快く応じて頂きありがとうございました。

プログラムについては幹事さんより逐次報告を頂きましたその対応は各委員長さんや他委員の方々のご配慮に感謝を申し上げます。

以上、出席・プログラム委員会の報告とさせていただきます。1年間ご協力ありがとうございました。



### 会報委員長 脇本 敏雄

○ 総括

今年度の会報委員会は大きく三つの目標をかかげて事業を進めてきましたが、ほぼ初期の目的を達成したと思って居ます。

① 会報は週報であり遅滞なく次例会までに配布する

ゲストスピーカーの原稿を原則当日提出して頂くことと、会員の皆様には毎例会の原稿は遅くとも次週の火曜日中に提出して頂くようお願いしました。一度も遅滞なく発行出来たのも皆様のご協力のお陰です、感謝いたします。

※ペーパーレス化に移行して4年程経過しています。しかし未だ8名が印刷したものを受領していますが是非趣旨に賛同して頂きたい。(次期の課題)

② 会員の投稿欄「一期一会」を設ける

会長の今年度方針として、「年度内にほぼ全会員にスピーチをしてもらい、会員相互の理解を深めたい」と言われていましたので、会報委員会もその一環として、全会員に投稿をお願いし会報の中に「一期一会」として掲載をしました。最終的に皆さんの文章を小冊子に纏め会員に配布しましたので、再読して下さい。

# 例会報告

## ③ 写真の配布

年間の例会での記録写真を会員に配布し、寸志（こころざし）をニコニコに寄付する計画を立てました。H24年に2回実施しましたがH25年度分につきましては、新年度第一例会において3回目として配布します。

## 社会奉仕・ヘルス委員長

### 堺 和信

基本方針は、「ロータリークラブと奉仕活動との関わりについて理解を深め実践する」と「ロータリー会員の健康増進を図る」でした。

8月と3月に行われました

「第58回・第59回高山西RC杯争奪ソフトミニバレー大会」への協賛をすると共に、高山西RCとして2チームが参加をしましたが、練習不足で予選で惨敗をいたしました。参加協力をしていただきました会員の皆様方には感謝申し上げます。

2月22日の担当例会におきまして、会員の健康管理という点で、高山赤十字病院泌尿器科の柚原一哉先生をお招きし、50歳以上に多く男性だけの病である前立腺肥大症と前立腺癌の、症状と治療方法について講話をいただきました。3月15日の担当例会では、「NPO法人さんしょうの会」代表の道添健太郎様より、活動事業の一つである障害者通所作業所「ゆめ匠パン工房 さららハウス」の立ち上げや運営の苦労話や、事業活動について講話をいただきました。また、西RCとしてその例会での昼食にパンを購入したり、会員の皆さまから集めたタオルを寄付させていただいたり、ささやかながら社会奉仕のお手伝いをさせていただきました。



## 環境保全委員長 遠藤 隆浩

前半には毎年のように皆さまに自然に親しんでいただくために秋に原山散策を企画していましたが突然の雪のため中止とさせていただきます。担当例会ではガイドをしていただく予定

だった小野木先生にBGM付きの講演をしていただき大変楽しい時間を過ごすことができました。

後半は台北ロータリークラブをお招きしての新緑例会に相乗りさせていただきまして、天候も上々の中、ガイドさんのもと素晴らしい景色を堪能することができました。

ご協力ありがとうございました。

## 青少年育成委員長

### 道脇 清春

皆さんこんにちは！青少年育成委員会です。青少年育成という言葉が一番相応しくない人間が委員長を勤めさせて頂きました。副委員長に挟土 貞吉さん



委員に向井 公規さん、長瀬 達三さんの4名です。

基本方針に則り、年間行事を進めて参りました。

1. 高山あすなる会・小中学校木工コンクールに協賛
2. 高山市スポーツ少年団に協賛
3. 義務教育課程9ヶ月皆出席表彰  
本年は26名の生徒さんが皆出席を達成されました。
4. ゲストスピーチとして2回行いました。

H24年9月21日に、飛騨子供相談センター 中切所長をお招きして『青少年の社会的引きこもり支援事業』について御講話を頂き、H25年5月31日に、独立行政法人 国際協力機構 通称J A I C A の国際協力推進委員の各務 茉莉さんと、青年海外協力隊の田川 薫さんの2名の方に御講話を頂きました。

皆様のご協力のおかげで1年間活動をさせて頂きましたこと感謝いたします。ありがとうございました。

## 国際奉仕・友好クラブ委員長

### 鴻野 幸泰

委員長は私、鴻野 幸泰、副委員長、鍋島 勝雄さん、委員は下屋 勝比古さん、向川原 毅彦さん、田中 晶洋さんです。



基本方針は『「国際間の理解と親善」をスローガンに国際交流に努める。また青少年交換学生の選任』です。本年度は14年ぶりに交換留学生を復活させていただきました。残念ながら派遣学生はいませんが受け入れ学生につきましては、オーストラリアからエリザベスを預かることになりました。受け入れに当たっては、以前にホストファミリーを経験した事のあるクラブメンバーに出席いただき研修会を3回行いました。1月19日にはセントレアヘカウンセラーの伊藤さんと私がベスを迎えに行きました。ファーストホストファミリーを私が受けさせていただき、今はセカンドホストファミリーの阪下六代さん宅にいます。半年経ちましたが、何とか無事に生活をしています。6月29日にはサードホストファミリーの折茂会長宅に行く予定です。折茂会長の後は、下屋さん、内田さん、塚本さん宅に行く予定です。そして先週は修学旅

## 例会報告

行の餞別と誕生日プレゼントに対するカンパを皆様方にしていただき、誠にありがとうございました。

次に来高されました台北東海ロータリークラブとの合同例会について報告させていただきます。5月14日に来高され、初日は夜遅く到着された事もあり、ホテルで折茂会長と鍋島特別委員長が出迎えられました。15日には上高地へ行き新緑例会を開きました。夜はアソシアにて歓迎合同例会、そして16日には宝生閣にてお別れ昼食会を行いました。本年度1年間ありがとうございました。



ロータリー財団委員長

小森 丈一

R財団委員会では、「世界で良い事をしよう」を目標に一人100\$以上の寄付をお願い致しました。その寄付金を集める方法として、毎月財団箱を回し寄付をして頂く、その

外に年6回の100万\$の食事を実施し、その差額を財団に寄付して頂く方法を取って居ます。

今年度の年次寄付金額は、塚本さんのPHFを含め755,922円で1人当たり149.21\$で(現在1\$100円)100\$を超えました。皆様のご協力有難う御座いました。

TRFへ送金したのは昨年4月から今年3月迄の702,567円プラス塚本さんのPHF80,000円計782,567円 一人当たり163.58\$ (3月1\$92円)でした。

ここで気になる事が有ります。昨年より2名増員になったのに、寄付金が昨年より減っているのはどうした事でしょう。4月～6月の3ヵ月を比較しても26,600円少なくなっています。これは欠席者が増えたからではないかと思われまます。どうか欠席しないで頂きたいと思ひます。

今年度のPHFは塚本さんにBFは折茂会長にご協力頂き有難う御座いました。

この7月から世界中で実施される、「未来の夢計画」の地区補助金の申請は、次年度はしない事になりましたので、申請はしませんでした。次年度は地区補助金を申請し、田中年度に実施の計画をしています。今後為にもEREY率を上げて置く必要が有りますので、一層のご協力をお願い致します。

### 米山奨学副委員長

岡田 賛三

委員長の伊藤さんが本日告別式のため欠席ですので、預かりました原稿を読み上げます。



「米山奨学委員会では担当例会にて 奨学金の種類や送金についてのご説明をし、クラブの皆様へ理解と協力を求めました。残念ながら現時点では成果を得られておりませんが、年度末まで努力したいと考えております。」

### 会長幹事退任挨拶



幹事 米澤 久二

一年間大変お世話になりました。皆様にご迷惑やご不便をおかけしたと思いますがお許し願ひます。

会務運営につきまして多くの会員の皆様へ多大なるご指導ご支援賜りました。おかげさまで、どうかこうにか一年間を終えることができました。ありがとうございました。



会長 折茂 謙一

昨年7月1日、飛騨高山美術館で新旧会長幹事の慰労激励会が行われ、会長としての1年が始まりました。この1年間すべての行事が滞りなく順調に行われましたが、これは米澤幹事をはじめ各クラブの委員長、理事役員、高山西ロータリーの皆様そして中澤事務局員のご協力のお蔭であります。

行事については各委員長から報告がありましたが、私の特に印象に残っていることは地区大会においてRI会長賞と会員増強推進計画において2度も表彰されたことです。これは前年度までの皆様のご尽力のたまものであります。

高山西ロータリーの会長に就任させていただいたことに心

# 例会報告

から感謝いたします。私の人生において素晴らしい経験として心に残る事だと思います。この1年本当にありがとうございました。

## <ニコニコボックス>

### ●折茂 謙一さん

- ① 山下直哉さん、高山西ロータリークラブに入会していただき有難うございました。
- ② 本日はエリザベスようこそ。
- ③ 本日午前中、台北東海RC会長R・トミーさんがマンゴーを送って下さいました。

### ●米澤 久二さん

1年間ご不便やご迷惑をおかけしたと思います。お許しください。多大なるご支援やご指導を賜り、どうにかこうに今日に至りました。本当にありがとうございました。

### ●山下 直哉さん

本日よりお世話になります。よろしく願います。わからない事ばかりですがご指導の程よろしく願います。

### ●井上 正さん

山下直哉さんの御入会心より歓迎いたします。ようこそ高山西ロータリークラブにお入りくださいました。彼とは高校からの同級生で共に学年最下位を競った仲間でもあります。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### ●田中 武さん

本日が最終例会。速いような遅いような一年でした。また来年度も宜しくお願い致します。

### ●洞口 良一さん、狹土 貞吉さん

今年一年間出席・プログラム委員会を担当させて頂き十分な仕事が出来ませんでした。皆さんに助けていただきながら終えることが出来ました。役員のみなさんご苦勞様でした。

### ●垂井 政機さん

一年間のニコニコ委員、長かった…。前年対比は本日でマイナス89,218円でした。欠席が多かったのかな…。それとも皆の会場入りが遅いのか…反省。

### ●小林 勝一さん

ニコニコ担当して一年間ありがとうございました。お聞き苦しかったり、読み間違いが多々あったと思いますがお許しいただきまして一年を締めくりたいと思います。ご協力あり

### ●脇本 敏雄さん

今年度全会員にお願いした「一期一会」への投稿が、今日の会報をもって掲載が無事完了しました。併せて本日それを収録した小冊子を配布することが出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。

### ●SAA 内田 幸洋さん、田中 正躬さん、河尻 浩次さん

1年間なんとか例会運営が出来ました。皆様ありがとうございました。

### ●新田 敬義さん

折茂会長 米澤幹事、一年間ご苦勞様でした。

### ●小森 丈一さん

折茂会長 米澤幹事、一年間ご苦勞様でした。24日俳句の会がありますのでお待ちしております。

### ●遠藤 隆浩さん

折茂会長 米澤幹事、一年間本当にご苦勞様でした。

### ●平 義孝さん、斎藤 章さん、門前 庄次郎さん

折茂会長さん米澤幹事さん、そして各委員長さん、今年度最終例会となりました。この一年間大変ご苦勞様でした。

### ●寺田 昌平さん

- ・折茂会長 米澤幹事、一年間ありがとうございました。次年度山下会長の女房役としての責務を感じ緊張しています。
- ・ブラジルで開催されているサッカーのコンフェデレーションカップ、日本対ブラジルは3対0で負け、イタリアには3対4と負け、残りはメキシコと対戦。これもどうなるか？

### ●下屋 勝比古さん

愛妻への誕生日の花束ありがとうございました。すっかり忘れていました。いい得点になりました。来週末よりロシアに出張します。涼しくて乾燥しているようです。また太りそうです。

### ●山下 明さん、寺田 昌平さん、小田 博司さん、脇本 敏雄さん

会場後方の応接セットを見て驚かれた方が多いと思いますが、これは次年度の方針として例会場をサロン化して、ゲストスピーカーや会員間の交流の場を提供し、有意義な価値ある例会を運営する手立てとして設けたものです。次年度のSAAが飛騨産業株式会社 社長 岡田 賛三さんに相談をしたところ、無償で提供すると申し出があり、昨日運び込まれたものであります。会員の皆様にはその趣旨をよくご理解の上活用していただきますようお願いいたします。岡田さんありがとうございました、感謝感謝です。併せてこの申し出を快く引き受けて下さいました大垣共立銀行様にも感謝申し上げます。